

## 地方独立行政法人埼玉県立病院機構物品等調達一般競争入札公告

物品の調達及び保守について、下記のとおり一般競争入札を行うので、公告する。

なお、本公告に記載のない事項については、地方独立行政法人埼玉県立病院機構一般競争入札執行要綱の規定によるものとする。

令和5年10月4日

地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター  
病 院 長 柳 澤 勉

### 記

#### 1 調達内容

- (1) 調達案件名称及び数量  
ペースメーカー遠隔モニタリング一括管理システムの購入及び保守 一式
- (2) 調達案件の仕様等  
別添仕様書のとおり
- (3) 納入期限  
令和6年2月29日（木）
- (4) 保守期間  
別添仕様書のとおり
- (5) 納入場所  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター病院長が指定する場所
- (6) 入札方法  
本件入札は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構一般競争入札執行要綱に基づき行う。

#### 2 競争入札参加資格

- (1) 地方独立行政法人埼玉県立病院機構契約事務取扱規程第3条第2項各号に該当しない者であること。
- (2) 令和5・6年度埼玉県物品等競争入札参加資格者名簿に登載され、業種区分「物品の販売」のA又はB等級に格付けされた者であること。
- (3) 入札参加資格者名簿の所在地要件が「管轄内」又は「準管轄内」であり、企業規模要件が「大企業」又は「中小企業」を満たす者であること。
- (4) 本件入札の公告日から落札決定までの期間に、埼玉県の契約に係る入札参加停止等の措置要綱又は地方独立行政法人埼玉県立病院機構入札参加停止措置要綱に基づく入札参加停止措置を受けていない者であること。
- (5) 本件入札の公告日から落札決定までの期間に、埼玉県の契約に係る暴力団排除措置要綱又は地方独立行政法人埼玉県立病院機構暴力団排除措置要綱に基づく入札参加除外措置を受けていない者であること。
- (6) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法

律第145号) 第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売業の許可を受けている者であること。

### 3 競争入札参加資格の確認

この入札に参加しようとする者は、次のとおり一般競争入札参加資格確認申請書(様式第1号)(以下「確認申請書」という。)を提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

#### (1) 提出期限

令和5年10月17日(火)午後3時(必着)

#### (2) 提出方法

確認申請書をファックス及び電子メールもしくは後記18(2)の場所へ郵送(簡易書留又は一般書留に限る。)及び持参により提出すること。なお、郵送による提出の場合は、封筒に「ペースメーカー遠隔モニタリング一括管理システムの購入及び保守 入札参加資格確認申請書在中」と朱書きすること。

#### (3) 提出書類

ア 確認申請書(様式第1号)

イ 薬機法第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売業の許可を受けている者であることを証明する書類

ウ 入札保証金免除に必要な添付書類(入札保証金の免除を希望する場合に限る)

#### (4) 結果の通知

競争入札参加資格の確認結果は、令和5年10月20日(木)午後4時までに、確認申請書に記載のメールアドレスに電子メールにより通知する。

なお、参加資格が「なし」の場合は、その理由を付する。入札参加資格を満たさないとした理由に不服がある場合は、苦情申出書により苦情の申し出ができる。

#### (5) その他

ア 確認申請書を提出した者は、確認申請書等の提出した書類について担当者から説明を求められた場合には、これに応じなければならない。

イ 確認申請書等の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

ウ 提出書類は返却しない。

エ 確認通知書の交付を受けている競争入札参加者であっても、入札日において入札参加資格を満たしていない者は、入札に参加する資格を有しない。

### 4 応札しようとする物品の提案

この入札に参加しようとする者は、応札しようとする物品について以下の(3)各号に掲げる書類(以下「提案書」という。)を提出し、確認を受けなければならない。

なお、仕様書で定める要件は、当センターが必要とする最低限の内容を示しており、提案書の内容がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には、入札に参加できないものとする。

#### (1) 提出期限

令和5年10月17日(火)午後3時(必着)

#### (2) 提出方法

提案書を後記18(2)の場所へ、郵送(簡易書留又は一般書留に限る。)又は持参により提出すること。郵送による場合は、封筒に「ペースメーカー遠隔モニタリング一括管理システムの購入及び保守 提案書在中」と朱書きすること。

(3) 提出書類（各2部）

ア 薬機法第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売許可を受けていることを証明する書類

イ 調達仕様書

ウ 保守業務仕様書

エ 作業工程表

(4) 結果の通知

応札しようとする物品の確認結果は、3(4)の入札参加資格の確認結果と併せて、通知する。

(5) その他

ア 提案書を提出した者は、提案書等の提出した書類について担当者から説明を求められた場合には、これに応じなければならない。

イ 提案書等の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

ウ 提出書類は返却しない。

5 仕様書等に関する質問及び回答

仕様書等に関する質問及び回答は、以下のとおり行う。

(1) 受付期限

本件公告日から令和5年10月6日（金）午後5時まで

受付期間以外の質問及び提出する様式や方法によらない質問は、一切受け付けない。ただし、入札手続など事務手続に関する質問はこの限りではない。

(2) 提出方法

質問書（様式第2号）を後記18(2)ファクシミリ又は電子メールにより提出すること。（提出後、電話により着信の確認を行うこと。）

(3) 回答の日時及び方法

契約希望者全員に共通な質問に対する回答は、次のとおり掲示して行う。

ア 回答日時

令和5年10月11日（水）午後4時までに掲示する。

イ 掲示場所

当機構の本件入札に関するホームページに掲示する。

6 入札保証金

別紙1「入札保証金について」のとおり。

7 入札書の提出

3により入札参加資格の確認を受けた競争入札参加者又は代理人は、以下のとおり入札書（様式第3号）を提出しなければならない。

(1) 提出期限

令和5年10月25日（水）午後2時（必着）

(2) 入札書の提出方法

ア 郵送（書留郵便に限る。）又は持参により提出すること。

イ 入札書は二重封筒に封入しなければならない。

入札書（別紙「入札金額内訳」を含む。以下同じ。）を中封筒に密封の上、当該中封筒の封皮には氏名（法人の場合は、その名称及び商号）を記載し、外封筒に入れて密封の上、当該外封筒の封皮には「令和5年10月25日開札 ペースメーカー遠

隔モニタリング一括管理システムの購入及び保守 入札書在中」と記載しなければならない。

ウ 初度の入札で予定価格の範囲内で有効な入札がなかった場合は再度入札を 1 回行うので、再度入札に参加する者は初度入札用の入札書及び再度入札用の入札書をそれぞれ封入すること。その際、中封筒の封皮に「初度入札」・「再度入札」の区別を記載すること。

エ 中封筒の封皮に「初度入札」・「再度入札」の区別が記載されていない場合は、初度入札の開札の際にその両方を開封し、記載された入札金額が低額であるもの又は入札辞退届が封入されたものを再度入札とみなし、それ以外のものを初度入札とみなす。

オ 外封筒内に、中封筒又は入札書が 1 通しか封入されていない場合は、その入札書は初度入札についてのものとみなし、再度入札については辞退したものとみなす。

(3) 提出場所

後記18(2)の担当窓口

(4) 入札書の作成要領

入札書は、本件公告とともに掲示されている入札書（様式第 3 号及び別紙）を用い、以下のア～エの事項を記載すること。

ア 入札書の作成年月日、入札金額（算用数字により記述し、最上位桁の左に¥を付すこと）、くじ入力番号（001～999の任意の 3 桁の数字）。

イ 別紙「入札金額内訳」の各金額

ウ 競争入札参加者本人が入札する場合は、その住所及び氏名（法人の場合は、その所在地、名称又は商号及び代表者の職・氏名）並びに押印（外国人の署名を含む。以下同じ。）。

エ 代理人が入札する場合は、競争入札参加者本人の住所及び氏名（法人の場合は、その所在地、名称又は商号及び代表者の職・氏名）、並びに当該代理人の氏名及び押印。

(5) 代理人が入札する場合は(4)で作成した入札書と併せて、委任状（様式第 4 号）を提出しなければならない。なお、「代理人が入札する場合」とは、当該代理人に入札金額を決定するなどの入札に関する意思決定が委任されている場合をいい、競争入札参加者本人が(4) ウにより作成した入札書を、作成者以外の者が持参する場合は委任状は不要である。

(6) 落札決定に当たっては、入札書に記載された入札金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札金額とするので、入札者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）を記載すること。入札金額内訳の各金額も同様とする。

8 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。

(1) 入札参加資格のない者がした入札

(2) 所定の入札保守金を納付しない者がした入札又は納付した入札保証金の額が所定の率による額に達しない者がした入札

(3) 公告で定められた方法以外の方法で入札書を提出した者がした入札

(4) 入札書と併せて入札見積金額内訳書の提出が求められた入札において、不備な入札

見積金額内訳書を提出した者がした入札

- (5) 談合その他不正行為があったと認められる入札
- (6) 虚偽の確認申請書、確認資料又は資格審査資料等を提出した者がした入札
- (7) 入札の辞退を申し出て、その申し出を受理された者がした入札
- (8) 入札者の押印がない入札書による入札
- (9) 記載事項を訂正した場合において、その箇所に押印のない入札書による入札
- (10) 入札金額を訂正した入札書による入札
- (11) 押印された印影が明らかでない入札書による入札
- (12) 記入すべき事項の記入のない入札書又は記入した事項が明らかでない入札書による入札
- (13) 代理人で委任状を提出しない者がした入札
- (14) 他人の代理を兼ねた者がした入札
- (15) 2以上の入札書を提出した者がした入札又は2以上の者の代理をした者がした入札
- (16) 前各号に定めるもののほか、この公告に示す事項に反した者がした入札

## 9 開札日時

令和5年10月25日（水）午後3時

## 10 開札への立会い

開札への立会いは、不要とする。

なお、特に立会いを希望する者は、確認申請書の余白に立会いを希望する旨を付記することにより、開札に立ち会うことができる。

その場合において、立会者の集合すべき場所、日時等は、入札執行者から通知する。

## 11 落札者の決定等

予定価格の110分の100以下の価格で、最低の価格をもって入札をした者を落札者とする。ただし、落札とすべき同額の入札をした者が2人以上あるときは、くじにより落札者を決定する。電子くじの実施に当たっては、入札参加者が入札書に記載したくじ番号を用いるものとし、記載がない場合には「999」を用いるものとする。

なお、本件入札にあっては、「購入と保守の合計に係る予定価格」と「購入に係る予定価格」を定め、「購入と保守の合計に係る入札金額」が「購入と保守の合計に係る予定価格」の範囲内にあり、かつ、「購入に係る入札金額」が「購入に係る予定価格」の範囲内にある者で、「購入と保守の合計に係る入札金額」が最低の価格であるものを落札者とする。

## 12 再度入札

落札者がいない場合は、再度入札を行うものとする。

再度入札は1回とする。また、初度入札において、無効の入札をした者は、再度入札に参加することができない。

なお、再度入札を行って落札者がいないときは、随意契約に移行する場合がある。

## 13 契約保証金

別紙2「契約保証金について」のとおり

14 契約条項・支払条件  
別添契約書（案）のとおり

15 現場説明会  
開催しない。

16 契約の説明

- (1) 契約の相手方が決定したときは、当該決定の通知が相手方に到達した日から原則として5日以内に契約の締結に応じるものとする。
- (2) 契約書は2通作成し、双方各1通を保管する。
- (3) 双方が契約書に記名して押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

17 その他

- (1) 競争入札参加者又は契約の相手方が本件の調達に関して要した費用は、すべて当該競争入札参加者又は当該契約の相手方が負担するものとする。
- (2) 確認通知書を受領した後、入札書の提出までに入札を辞退する場合は、令和5年10月25日（水）午後2時（必着）までに入札辞退届（様式第5号）を郵送（簡易書留又は一般書留に限る。）又は持参により後記18(2)の提出場所に提出すること。郵送による場合は、封筒に「ペースメーカー遠隔モニタリング一括管理システムの購入及び保守 入札辞退届在中」と朱書きすること。
- (3) 天災が原因等で入札・開札事務が処理できない場合は、入札・開札を延期する。その場合は、電話、ファックス等により、必要な事項を連絡する。
- (4) 妨害、不正行為、連合その他入札を公正に執行することができない事由が生じ、又は生じる恐れがあると認められたときは、入札期日を延期し、又は入札を取りやめることがある。その場合は、その旨を入札参加者に対して通知する。
- (5) 入札をした者は、入札終了後において、仕様書及び契約書（案）等について、不明を理由として異議を申し立てることができない。

18 この公告に関する問合せ先

(1) 入札執行権者

所属の名称 地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター

職・氏名 事務局長 小口 賢

(2) 本件調達及び保守に関しての担当窓口

〒360-0197

埼玉県熊谷市板井1696

埼玉県立循環器・呼吸器病センター事務局医事部医事担当 小林

電 話 048-536-9900 内線2101

F A X 048-536-9916

メールアドレス：k369900g@saitama-pho.jp